

2022（令和4）年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	1495200477	事業の開始年月日	平成18年12月1日
		指定年月日	令和2年10月1日
法人名	株式会社ツクイ		
事業所名	ツクイ武蔵中原		
所在地	(211-0041) 川崎市中原区下小田中5-12-22		
サービス種別 定員等	■ 認知症対応型共同生活介護	定員計	18名 ユニット数 2 ユニット
自己評価作成日	令和5年2月16日	評価結果 市町村受理日	令和5年5月24日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先 <http://www.rakuraku.or.jp/kaigonavi/>

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

2016年12月開設となりますが、現在も綺麗な状態を維持しております。コロナの影響もあり他の施設同様に、外出の機会も減り、活動的な活動が困難となっていることは事実ですが、職員と力を合わせ、こうした状況を打破すべき頑張っております。

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	株式会社フィールズ		
所在地	251-0024 神奈川県藤沢市鶴沼橋1-2-7 藤沢トーセイビル3階		
訪問調査日	令和5年3月28日	評価機関 評価決定日	令和5年5月18日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

事業所は田園都市線「溝の口」南口より、東急バス「蟹ヶ谷」行き乗車、「子母口」バス停下車、徒歩5分です。または、JR南武線「武蔵中原」駅下車、徒歩20分です。3階建ての2階と3階を利用した2ユニット事業所です。1階は同一法人運営の小規模多機能型住宅介護事業所です。

<優れている点>

所長が中心となり、職員の「元気とやる気」「笑顔」を創り出しています。職員の業務適性や能力、長所・短所を知るための「介護（業務の）適性検査チェック」を導入し、限られた職員の配置などに活用したり、主任へ登用時の基準にしています。研修にも積極的に取り組み、職員の適性を踏まえたステップアップへの受講を計画実行しています。介護サービスの資格が無い職員には認知症基礎研修」を外部受講の予定です。また、新しい企画として家族との話し合いから、利用者向け「介護美容サービス」を新たに利用できる計画をしています。従来の理美容と異なり、フェイスマッサージ、ネイルサービス、化粧などを実施し、美容師が会話と共に利用者の笑顔作りに励みます。従来の固定概念に捕らわれず、職員のコミュニケーションを大切にして日々のケアに勤めています。

<工夫点>

1階にある地域交流スペースを、乳児、健康麻雀クラブ、パンの販売、子供食堂など地域住民へ開放努力し、地域住民の情報を事業所運営に活用できるようにしています。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 10
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	11
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	12 ~ 16
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	17 ~ 23
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	ツクイ武蔵中原
ユニット名	そよかぜ

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3, 利用者の1/3くらいの
			4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまにある
			4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
		○	4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3, 家族の1/3くらいと
			4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまに
		○	4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えています。 (参考項目：4)		1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3, あまり増えていない
		○	4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1, ほぼ全ての職員が
		○	2, 職員の2/3くらいが
			3, 職員の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての利用者が
		○	2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての家族等が
		○	2, 家族等の2/3くらいが
			3, 家族等の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	朝、夕の申し送りにて日中、夜間の情報を共有している。	5ヶ条から成る事業所理念は時代の流れを考慮し、最近は見直しの対象としています。所長と各フロアリーダーによる検討概要を书面化し、全体会議での話し合いを考えています。事業所理念のほか、法人理念、介護の心得なども2階事務所に掲示しています。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	コロナ禍により控えております。自治会に加入しています。	下小田中5丁目自治会に加入しています。3年前からにより自治会との交流も途絶えており、定期的回覧板のやり取りのみとなっています。この状況改善のため行政との協力のもと、自治会への交流依頼を始めて現状打破に努めています。	地域交流の核になる自治会との人的交流が可能になることが今後期待されます。行政との協力のもと、相互の行き来が再開できることが期待されます。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	交流スペースにて【健康マージャン】 【子育てサロン】を開催しています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	コロナ禍により控えております。自治会に加入しています。	今期の運営推進会議を複数家族と書面会議を6回開催しています。地域住民の参加を求め、行政保健師、地域包括支援センターに参加の了解を得て、川崎市役所経由で民生委員の協力要請も進めています。	運営推進会議の参加者に地域を代表する自治会、行政、民生委員などのメンバーを復活させることが今後期待されます。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。	川崎市と連携し、福祉用具製品のテストに参加しています。	川崎市の「かわさき基準認証福祉製品制度」に協力し、指定の福祉用具製品の試用を行って、モニター評価を報告しています。利用者の認定更新時や生活保護受給者のため、行政への相談・連絡を行っています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が、身体的拘束等の対象となる具体的な行為を正しく理解するとともに、身体的拘束等の適正化のための指針の整備、定期的な委員会の開催及び従業者への研修を実施し、緊急やむを得ない場合を除き、身体的拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束廃止委員会の定期開催、研修の実施を行っています。	身体拘束廃止委員会を定期開催しています。毎回の共通議題は「前回の振り返り」と「法人の指針についての理解」です。テーマでは「身体拘束による影響～身体拘束が本人・家族に与える影響を考える～」などを話し合い、記録しています。	
7	6	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている。	虐待防止委員会の定期開催、研修の実施を行っています。	虐待防止委員会を設置し、「虐待防止に関する指針」を作成しています。虐待防止委員会の全体組織図を作成し、委員の役割を明記し、具体的な行動につなげています。「虐待防止チェックリスト（20項目）」を全職員が毎年記入し、管理者に提出しています。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	ご入居者様の中には成年後見制度を利用し、後見人様が付いている方がいます。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時には、ご本人様、ご家族様と面談し、重要事項説明書、契約書の記載内容をご確認して頂いた上で署名と捺印を頂いております。		
10	7	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	第三者評価等から頂いた内容を共有したり、ご家族様からの意見等を共有しています。	管理者は外部評価の結果を会議で職員に報告しています。誰でも閲覧できるようにエントランスにファイリングしています。家族意見をヒントに「介護美容サービス」の提供を計画しています。職員の協力と家族の同意により、利用者の「体のケアから心の楽しみ」の取り組みを企画しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	8	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	朝、夕の申し送り時や日頃の職員との会話の際に、意見、提案を業務の中に反映しています。	管理者は日々の申し送り事項から見つけた職員の意見を業務に活かしています。職員の勤務希望などから「介護（業務の）適性検査チェック」を初採用し、業務の適性を12月に評価した結果、新たな主任（フロアリーダー）を申請しています。	
12	9	○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	労務管理については、会社規定に基づき、定期的に講和しています。職員に合わせた勤務形態にて個々が向上心を持って勤務が出来るようにしています。	職員からの相談は法人に直接つながる相談ラインがあります。事業所には「衛生委員会」があり、毎月運営開催しています。2月には2023年度の目標「心の健康づくり」を計画検討し、労働事故を減らす、安全と生活習慣病リスクのチェックを目指しています。	
13	10	○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	会社全体で研修の強化を行っております。コロナ禍により集合研修が実施出来ない状況下でもEケアラボという視聴型の研修も実施しています。	法人の教育・研修（イーケアラボ）を職員全員が計画に従って視聴しています。事業所では来季に備えた認知症の法定研修を実施しています。実務を想定した再トレーニングを行い、介護事業の無資格者には「認知症基礎研修」を外部研修受講の予定となっています。	
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	社内のネットワークはもちろんの事、ブロック会議やエリア会議、地区会議等で定期的な連携をしています。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	入所前の訪問時に、フェイスシート、アセスメントをしっかり行い、分析した結果を基にケアプランを作成します。ユニット毎に共有し、ご本人の生活歴、身体、精神的状態等を職員全員で把握し安心して生活できるようにしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	入所時、入所後も、定期的にご要望や意見をお聞きしております。コロナ禍により面会の制限がありましたが、電話等で状況の報告を行っています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	入居相談時に、現在の状況確認を行います。状況に合わせたサービスの選択が行えるように資料等を用いた説明をさせて頂いております。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	お客様の立場に立ち、介助・支援するよう指導しております。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	細かな情報の共有を行い、ご家族様の立場を理解しながら、支援を心がけています。		
20	11	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	お客様のご希望を伺いながら、希望に添えるように支援しております。馴染みの方からの電話等、取次ぎを行っています。2名の入居者様はご家族様からの電話での会話もよくされています。	コロナ禍のため家族との面会も制限しています。家族意見も踏まえた電話の取り次ぎ支援をしています。事業所の電話1回線が塞がることもあり、所長の携帯番号を伝えて家族との連絡を可能にしています。かかった電話は利用者へ手渡して会話を可能にしています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	会話のしやすいように席の配置や共通の趣味の話題等をして、お客様同士が自然とコミュニケーションが図れるようにしています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	サービスが終了となっても、その後の生活状況を伺い、相談援助に努めています。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	12	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	お客様との会話を大切にし、傾聴を行いお客様の気持ちになって検討を行っております。	利用者との会話は居室のほか、リビングでは応援職員が入った時などに1対1の時間を作り、傾聴に努めています。言葉でのやりとりが難しい場合は表情や動作から推し量っています。新しく得た思いや意向は口頭、ホーム日誌、申し送りで共有しています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入所前のアセスメント時に、お客様の生活歴・趣味等をお聞きし、お客様のペースで生活できるように支援しています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	日々の申し送りや介護記録での把握やカンファレンスでの把握を行っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	13	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	日々の介護記録や申し送りを確認し、モニタリング・カンファレンスにて具体的な支援方法の検討を行い、ご本人・ご家族様に提案しケアプランに反映を行っております。	入居時は事業所での生活に慣れるまで、3ヶ月程度の暫定版のケアプランを作成しています。その後本人や家族の意向を反映した本プランにしています。	コロナ禍以降の不十分な部分を改善し、定期的なモニタリングにより、プランに沿った支援につなげていくことが期待されます。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	日々の介護記録・申し送りを確認しながら共有を行っております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	出来る限りご家族様やご本人のご要望に沿えるように支援しております。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	コロナ禍により外出ができない状況の中、オンラインでのツアーや訪問理美容等を活用し、楽しみを持てるような取り組みを行っています。		
30	14	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	毎月2回の定期往診に加え、24時間対応の連絡体制が整っております。専門医への受診時は紹介状等の手配や受診後の情報共有も行っております。	全利用者が事業所の協力医をかかりつけ医としています。入居前のかかりつけ医に通院時は家族と所長が付き添い医師の説明を聞いています。毎週訪問看護があるほか、併設する小規模多機能事業所の看護師配置により、安心に繋がっています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	毎日にバイタルチェック・健康チェックに加え、毎週、木曜日に訪問看護師による健康チェックも行っています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	往診医からの紹介状・医療情報提供書等での連携を行い、入退院時の情報共有を行っております。		
33	15	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	契約時に重度化した時の看取りの方針を説明し理解を頂いております。入所後も適宜お客様の状態を連絡しています。職員に対しては看取りの研修等への参加も促しております。	入居時の説明とその時点での家族の希望を聞くほか、医師が重度化と判断した場合は再度本人の今後について話し合っています。看取りケアを行う体制があり、職員は終末期ケア・グリーフケア内部研修を定期的に受講し、意識を高めています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身につけている。	緊急時対応研修の実施を行っています。		
35	16	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	避難訓練を年2回実施し、避難経路の確認等を行っています。	BCP（事業継続計画）を作成しています。今年度の避難訓練は非常災害時対応研修を含め、机上訓練を行っています。備蓄品に関しては、食品類、備品類ともに必要な物および量の確保と保管・管理が検討課題となっています。	災害を想定した職員の実務行動訓練の実施が期待されます。備蓄品に関しては、事業所に必要な物品量の確保をし、リストを基に適切に保管・管理をすることが期待されます。

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	17	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	接遇マナー研修やプライバシーについての研修を行っています。	入居時の説明で、家族には、利用者と職員間で信頼関係を築いた上でフランクな関わり方も生まれてくることを伝えています。職員には責任の持てる対応を心がけるよう話しています。配慮が足りない対応があった時は速やかに注意喚起を促しています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	お客様の嗜好を都度お伺いし、お客様の意思決定を大切にするように心掛けています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	お客様の生活歴や現在の状態を把握し、お客様のペースで過ごして頂けるように支援しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	毎朝、着替えをして頂き、お客様にお聞きしながら、季節に合わせて身だしなみを行っています。		
40	18	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている。	出来る限りお客様ができる事をして頂いております。エプロン畳みやお盆、食器等を拭いて頂いております。	食事は運営法人の自社工場から届く調理済み食品を湯煎を主にして提供しています。利用者はお盆や食器拭きなどを手伝っています。誕生会はケーキで祝います。その他、レクリエーションを行う際は、職員配置を厚くし、皆で楽しめるよう配慮しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	日々の食事摂取記録にて食事量の把握と水分摂取の把握を行っています。お客様の状況に合わせて食事形態の変更も随時行っています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	食後に口腔ケアを実施しております。又定期的に訪問歯科に口腔内をみて頂いております。		
43	19	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	排泄記録にて、排泄リズムを把握し定期的に声掛けを行っています。トイレ誘導やお通じのない方については、往診医と訪問看護師に連絡し指示を頂いております。	自己回復力を信じ、トイレで排泄ができるようにしています。定時誘導のほか、排泄記録から個別のパターンを把握し、声掛けや誘導をしています。職員の適切な支援でおむつからリハビリパンツに変更、パットの量が減ったなど、改善事例が増えています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	体操への参加で体を動かしたり、食事のバランス（繊維質のもの）に気を付けています。		
45	20	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。	希望・タイミングのご要望に添えておりませんが、気持ちよく入浴して頂けるようにしています。体調を見て入浴日を変更したり、柔軟に対応しています。	入浴好きな利用者が多く、ゆったりと気持ちよく入ってもらうよう、時間に余裕を持って対応しています。入浴剤を数種類用意し、日替わりで色や香りを楽しむことも始めています。介護度が高い利用者は家族の了解のもとシャワー浴対応をしています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	お客様の状態に合わせ、お客様のペースで休んでいただいております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	日々の申し送りやカンファレンスにて服薬情報の確認を行っております。排便についての服薬については、訪問看護師・往診医と連携し、下剤の追加や徐薬を行っております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	洗濯物を畳んだり、座席周辺の掃除を行ったりと、お客様の生活歴からできる部分を張り合いとして行っております。		
49	21	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	コロナ禍の為、実施出来ておりません。	コロナ禍のため法人の意向により、外出はせず、玄関先での外気浴程度に留めています。今後コロナの状況を見て、散歩を再開する予定です。個別の外出については家族に協力をお願いし、散歩、外出、外食、自宅に戻るなどしています。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	コロナ禍の為、実施出来ておりません。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	面会の制限があった為、ご家族との電話をして頂いております。		
52	22	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	お客様の作成物や季節にあった装飾を行っております。	共用空間は清掃、換気、消毒を丁寧に行っています。リビングは陽当たりが良く、明るい雰囲気です。利用者同士の関係性に配慮し、適宜席の移動をしています。リビングでは一人で新聞を読んだり、利用者同士や職員を相手におしゃべりをするなど寛げる空間となっています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	席の配置に配慮したり、ちょっとしたソファで休んだりできるようにしています。		
54	23	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	お客様の使い慣れた家具を置かれて、お好みのレイアウトをされています。	事業所の備え付けがありますが、仏壇、位牌、家族の写真、タンス、伝統工芸の小物など自由に持ち込んでいます。家族と相談し、ベッドの位置などを個別に配慮しています。職員間で協力しながら掃除、整理整頓や不足品の確認など支援をしています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	日々環境の整備を行い、整理整頓を心がけわかりやすいように、トイレや居室の表示を行っています。		

事業所名	ツクイ武蔵中原
ユニット名	こもれび

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/>	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3. たまに 4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="radio"/>	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	朝、夕の申し送りにて日中、夜間の情報を共有している。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	コロナ禍により控えております。自治会に加入しています。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	交流スペースにて【健康マージャン】 【子育てサロン】を開催しています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	コロナ禍により控えております。自治会に加入しています。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。	川崎市と連携し、福祉用具製品のテストに参加しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が、身体的拘束等の対象となる具体的な行為を正しく理解するとともに、身体的拘束等の適正化のための指針の整備、定期的な委員会の開催及び従業員への研修を実施し、緊急やむを得ない場合を除き、身体的拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束廃止委員会の定期開催、研修の実施を行っています。		
7	6	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	虐待防止委員会の定期開催、研修の実施を行っています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	ご入居者様の中には成年後見制度を利用し、後見人様が付いている方がいます。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時には、ご本人様、ご家族様と面談し、重要事項説明書、契約書の記載内容をご確認して頂いた上で署名と捺印を頂いております。		
10	7	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	第三者評価等から頂いた内容を共有したり、ご家族様からの意見等を共有しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	8	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	朝、夕の申し送り時や日頃の職員との会話の際に、意見、提案を業務の中に反映しています。		
12	9	○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	労務管理については、会社規定に基づき、定期的に講和しています。職員に合わせた勤務形態にて個々が向上心を持って勤務が出来るようにしています。		
13	10	○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	会社全体で研修の強化を行っております。コロナ禍により集合研修が実施出来ない状況下でもEケアラボという視聴型の研修も実施しています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	社内のネットワークはもちろんの事、ブロック会議やエリア会議、地区会議等で定期的な連携をしています。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	入所前の訪問時に、フェイスシート、アセスメントをしっかり行い、分析した結果を基にケアプランを作成します。ユニット毎に共有し、ご本人の生活歴、身体、精神的状態等を職員全員で把握し安心して生活できるようにしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	入所時、入所後も、定期的にご要望や意見をお聞きしております。コロナ禍により面会の制限がありましたが、電話等で状況の報告を行っています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	入居相談時に、現在の状況確認を行います。状況に合わせたサービスの選択が行えるように資料等を用いた説明をさせて頂いております。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	お客様の立場に立ち、介助・支援するよう指導しております。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	細かな情報の共有を行い、ご家族様の立場を理解しながら、支援を心がけています。		
20	11	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	お客様のご希望を伺いながら、希望に添えるように支援しております。馴染みの方からの電話等、取次ぎを行っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	会話のしやすいように席の配置や共通の趣味の話題等をして、お客様同士が自然とコミュニケーションが図れるようにしています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	サービスが終了となっても、その後の生活状況を伺い、相談援助に努めています。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	12	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	お客様との会話を大切にし、傾聴を行いお客様の気持ちになって検討を行っております。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入所前のアセスメント時に、お客様の生活歴・趣味等をお聞きし、お客様のペースで生活できるように支援しています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	日々の申し送りや介護記録での把握やカンファレンスでの把握を行っております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	13	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	日々の介護記録や申し送りを確認し、モニタリング・カンファレンスにて具体的な支援方法の検討を行い、ご本人・ご家族様に提案しケアプランに反映を行っております。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	日々の介護記録・申し送りを確認しながら共有を行っております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	出来る限りご家族様やご本人のご要望に沿えるように支援しております。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	コロナ禍により外出ができない状況の中、オンラインでのツアーや訪問理美容等を活用し、楽しみを持てるような取り組みを行っています。		
30	14	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	毎月2回の定期往診に加え、24時間対応の連絡体制が整っております。専門医への受診時は紹介状等の手配や受診後の情報共有も行っております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	毎日にバイタルチェック・健康チェックに加え、毎週、木曜日に訪問看護師による健康チェックも行っています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	往診医からの紹介状・医療情報提供書等での連携を行い、入退院時の情報共有を行っております。		
33	15	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	契約時に重度化した時の看取りの方針を説明し理解を頂いております。入所後も適宜お客様の状態を連絡しています。職員に対しては看取りの研修等への参加も促しております。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	緊急時対応研修の実施を行っています。		
35	16	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	避難訓練を年2回実施し、避難経路の確認等を行っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	17	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	接遇マナー研修やプライバシーについての研修を行っています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	お客様の嗜好を都度お伺いし、お客様の意思決定を大切にするように心掛けています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	お客様の生活歴や現在の状態を把握し、お客様のペースで過ごして頂けるように支援しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	毎朝、着替えをして頂き、お客様にお聞きしながら、季節に合わせて身だしなみを行っています。		
40	18	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている。	出来る限りお客様ができる事をして頂いております。エプロン畳みやお盆、食器等を拭いて頂いております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	日々の食事摂取記録にて食事量の把握と水分摂取の把握を行っています。お客様の状況に合わせて食事形態の変更も随時行っています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	食後に口腔ケアを実施しております。又定期的に訪問歯科に口腔内をみて頂いております。		
43	19	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	排泄記録にて、排泄リズムを把握し定期的に声掛けを行っています。トイレ誘導やお通じのない方については、往診医と訪問看護師に連絡し指示を頂いております。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	体操への参加で体を動かしたり、食事のバランス（繊維質のもの）に気を付けています。		
45	20	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。	希望・タイミングのご要望に添えておりませんが、気持ちよく入浴して頂けるようにしています。体調を見て入浴日を変更したり、柔軟に対応しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	お客様の状態に合わせ、お客様のペースで休んでいただいております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	日々の申し送りやカンファレンスにて服薬情報の確認を行っております。排便についての服薬については、訪問看護師・往診医と連携し、下剤の追加や徐薬を行っております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	洗濯物を畳んだり、座席周辺の掃除を行ったりと、お客様の生活歴からできる部分を張り合いとして行っております。		
49	21	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	コロナ禍の為、実施出来ておりません。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	コロナ禍の為、実施出来ておりません。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	面会の制限があった為、ご家族との電話をして頂いております。		
52	22	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	お客様の作成物や季節にあった装飾を行っております。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	席の配置に配慮したり、ちょっとしたソファで休んだりできるようにしています。		
54	23	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	お客様の使い慣れた家具を置かれて、お好みのレイアウトをされています。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	日々環境の整備を行い、整理整頓を心がけわかりやすいように、トイレや居室の表示を行っています。		

2022年度

事業所名 ツクイ武蔵中原
 作成日： 2023年 5月 2日

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	地域住民との交流	困った際に相談ができる環境を整える。	ポスティングにて内覧会の実施をおこない事業所の内容を理解いただく。	6ヶ月
2	16	災害対策	入居者・職員が3日間分の備蓄を用意する。	備品リストを作成し管理する。	6ヶ月
3	13	介護計画ともモニタリング	定期的なモニタリングをチームで行う。	3か月に一度にモニタリングを実施しケアの統一を図る。	3ヶ月
4	3	運営推進会議を活かした取り組み	自治会・民生委員・包括・保健師に参加いただく。	各方面にあいさつに行き参加していただけるように話をする。	2ヶ月
5					ヶ月